

2) 九州ノ南部カラ琉球、臺灣ニハふやう (*Hibiscus mutabilis* L.) ノ自生ノアルコトハ
 夙カラ判ツテ度ルガ一昨年12月ニ伊豆國ノ石廊崎^{イロウザキ}ニ行ツタ時ニ其自生ト思フモノヲ見タ
 カラ昨年10月更ニ之ヲ確メニ行ツタラ下加茂邊^{シセガモ}カラ石廊崎ニ至ル海岸ノ山林ニハ所々ニ自
 生ノ古木ガアル。從テ住民ニハふやうハ珍ラシクナイノデ人家ノ庭ニ植エルモノハ一人モ
 ナイ。

3) 昨年8月植物科前期ノ學生寶月欣二君ガ信州ノ八方山デ採集シタばらノ標本ヲ持ツ
 テ來タガ其ハ北海道カラ西比利亞、滿鮮、北支那迄ニ分布スルおほみやまばらデアル、本島
 デハ初メテ知レタ自生品デアル。おほみやまばらノ學名ニハ *Rosa acicularis* LINDLEY
 (1830年)、*Rosa Gmelini* C. A. MEYER (1830年) 等ヲ用キルガ *Rosa suavis* WILL-
 DENOW (1813年) ガ一番早ク附イタ正シイ名デアル。 (中井猛之進 T. NAKAI)

○みやまもじずりノ屬籍

本州ノ亞高山ニ見掛ケル可憐ナ蘭デアルガ一般ニハ *Gymnadenia* ニ入レテ *G. cucullata*
 L. C. RICHARD ガ用ヒラレテ居ル。 *Gymnadenia* ノ基準種ハ *G. conopsea* R. Brown 即
 テてがたちどりデアルガ、ソノ花蓋片ハ皆分離開出シテ居ルシ、粘質體ハ小嘴體ト直角ノ位
 置ヲ保ツ。處ガみやまもじずりデハ花蓋片ハ唇瓣ヲ除ク他ノ五片ガ何レモ平行シテ蕊體上
 方ニ互ヒニ密接シタ花兜ヲ形成シ、且ツ粘質體ハ小嘴體ト平行ノ位置ヲ採ツテ居ルノ差異ガ
 アル。H. G. REICHENBACH 氏ハ上記ノ差異ヲ屬内ノ小區分ト認メテ *Gymnadenia* ノ下ニ
Neottianthe ナル sectio ヲ *Icones Fl. Germ. et Helvet.* XIII-XIV p. 108 et 109 (1851)
 デ建テテ居ル。〔同頁ニハ sectio ノ文字ハナイガ p. 188 ノ Index ニハ *Gymnadenia*
 sectio *Neottianthe* トアルカラ著者ノ意向ハ sectio デアツタト見ルベキデアル〕ソノ後
 SCHLECHTER 氏ガ FEDDE, Repertorium XVI p. 292 (1919) デコレヲ屬ニ昇格サセタ、現在
 ノ屬ノ觀念ヲ以テスレバコレガ正當ノ屬籍ト思ハレル。サスレバみやまもじずりノ學名ハ
Neottianthe cucullata (L.) SCHLECHTER in FEDDE, Repert. Spec. Nov. Regn. Veget.
 XVI: 292 (1919) トナル。本種ノ葉ハ緑一色ナルヲ普通トスルガ、時ニ紫斑ヲ飾ルモノガ
 アル。第一次滿蒙學術調査團報告第四區第一編第20頁(1934)ニ發表サレタうづらもじず
 リハコレデアル。 (前川文夫)

○えぞのたちつばすみれノ無毛品

えぞのたちつばすみれハ葉・托葉・萼片等ニ細毛ヲ有スルノガ普通デアル。所ガ磐城、田村
 郡、大瀧根山麓及ビ岩代、岩瀬郡、湯本村デ鈴木貞次郎氏ガ採集サレタモノハ全く無毛ノ一
 品デアツタ。花ハ同氏ニヨレバ淡堇色カ稀ニ殆ソド白色ノ由デ、側瓣ニハ鬚毛ガアル。無毛
 ノ形ガしべりやニモアル事ハ既ニ LEDEBOUR ノ記載ニ於テモ述ベラレテキルガ、未ダ區別
 サレタ事ヲ知ラナイカラ、次ノ様ニ名付ケテオク。尙 *Viola micrantha* TURCZANINOW (1832)
 ハ *V. micrantha* PRESL. (1822) ナル古イ homonym ガアルノデ用キラレナイ。

Viola acuminata LEDEBOUR, Fl. Ross. I, p. 252 (1842).